

G1-2025-

化 学

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 解答時間は**1時間**です。
2. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
 - (ウ) 書ききれない場合は、裏面を使用してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
3. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
	化 学		

指示があるまで中を開いてはいけません。

現在、プラスチック廃棄物による環境汚染が大きな問題となっており、各国で解決に向けた様々な取組が進められている。我が国では、2019年に「プラスチック資源循環戦略」を発表し、2030年までに使い捨てプラスチックを累積で25%排出抑制する目標を掲げた。また、同年のG20では、2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにすることを目指す「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」がまとめられた。以下の問いに答えよ。

- (1) プラスチックゴミの削減に繋がる、化学分野に関連したアイデアを示せ。
- (2) (1)で述べたアイデアを実現させるために行政が取り組めることについて説明せよ。
ただし、研究費の増額に関する施策は除くものとする。